

NEWS RELEASE

2020-26

2021.03.29

阪急千里線が2021年に開業100周年を迎えます

開業100周年を記念し、「ヘッドマークの掲出」や「グッズの販売」などを実施します

阪急京都線の支線の一つである千里線は、1921年に開業してから今年で100周年を迎えます。これを記念して、4月1日(木)から、京都線で運行する一部の列車に記念ヘッドマークを掲出するほか、記念グッズの販売を行います。

また、千里線の開業とともに設置された南方～千里山駅間の8駅*に、沿線の皆様と歩んできた100年の歴史を振り返ることができる記念写真パネルを掲出します。

詳細は次のとおりです。

*：関大前駅と吹田駅は、駅の統合や駅名変更を経て現在に至っています。添付の「ご参考(阪急千里線のあゆみ)」をあわせてご覧ください。

阪急千里線の開業100周年記念の企画について

1. 記念ヘッドマークの掲出

【掲出期間】2021年4月1日(木)～6月30日(水)

【運行路線】京都本線および千里線

【掲出車両数】2編成



現在運用されている列車をモチーフにした「大阪方ヘッドマーク」

(左) 車両番号1312号車 (右) 車両番号3323号車

開業当時運用されていた1形をモチーフにした

「京東方ヘッドマーク」

2. 記念写真パネルの掲出

【掲出期間】2021年4月1日(木)～6月30日(水)

【掲出場所】南方駅、崇禅寺駅、淡路駅、下新庄駅、吹田駅、豊津駅、関大前駅、千里山駅



写真パネルのイメージ



3. 記念グッズの販売

【販売日時】 2021年4月1日（木）10時から ※数には限りがあります

【販売場所】

- ・WEB通販サイト：「HANKYU DENSHA SHOP」 (<https://www.hankyudensha-shop.com/>)
 「鉄道甲子園オンラインショップ」 (<https://www.tetsudokoshien-shop.com/>)
- ・ごあんないカウンター：淡路駅、北千里駅

※ごあんないカウンターでの販売は4月24日（土）～6月30日（水）になります。

7月30日（金）～8月31日（火）
に変更となりました。

【商品名・サイズ・価格】

商品名	ヘッドマークデザイン缶バッジ (3種類)	ヘッドマークデザインキーホルダー
サイズ	直径 5.5 cm	直径 4.8 cm (円形部分)
価格	各 300 円 (税込)	500 円 (税込)
		<p>(左) 表面デザイン (右) 裏面デザイン</p>
商品名	アクリル2連キーホルダー (3種類)	ミニ方向幕 (京都線)
サイズ	長さ 9 cm × 幅 3 cm	長さ 24.5 cm × 高さ 11.5 cm × 幅 5.5 cm
価格	各 800 円 (税込)	7,000 円 (税込)
		<p>※「ミニ方向幕 (京都線)」はWEB通販サイトのみでの販売になります。</p>

4. その他

記念入場券の販売やスタンプラリーのほか、千里線沿線をめぐる記念ウォーキングも予定しています。詳細が決定次第、ホームページ等でお知らせします。

【阪急千里線について】

1921年に営業を開始した千里線は、高度経済成長期の関西経済の発展とともに歩んでまいりました。

具体的には、1960年代に都市中心部への急激な人口集中に伴う住宅不足を解消する取組として、千里ニュータウンが開発されました。そして、そこにお住まいの方々の通勤・通学輸送に定めるため、1963年に新千里山(現 南千里)駅まで、1967年には現在の終点である北千里駅まで延伸を行い、北千里駅には日本初の自動改札機を設置して、ニュータウンに相応しい近代的な設備を持つ駅となりました。






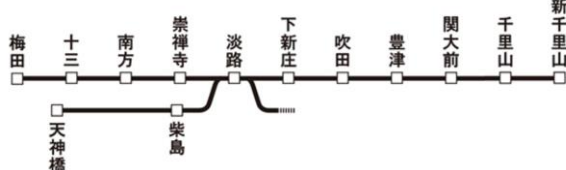


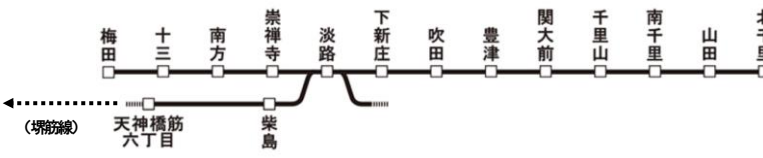
さらに1969年には、大阪市営地下鉄(現 大阪メトロ)御堂筋線の混雑緩和を図るため、大阪都心への新たな経路として堺筋線との相互直通運転が始まり、また1970年に大阪で万国博覧会が開催された際には、万国博西口駅を期間限定(1969年11月10日～1970年9月14日)で設け、来場される多くのお客様にご利用いただきました。

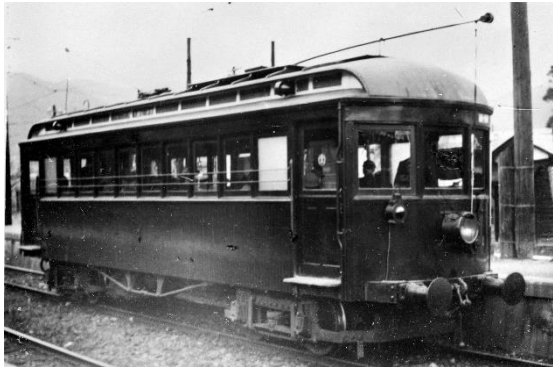
以上

【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、関西レジャー記者クラブ ほか

■阪急千里線のあゆみ

ご参考

1921年 4月 1日	<p>北大阪電気鉄道が<u>十三～豊津駅間の営業を開始</u></p> 	【写真①】
1921年 10月 26日	<p>北大阪電気鉄道が<u>豊津～千里山駅間の営業を開始</u></p> 	
1922年 4月 17日	<p>花壇前～千里山駅間に<u>大学前駅を開業</u></p> 	
1923年 4月 1日	<p>新京阪鉄道が北大阪電気鉄道の運輸事業を譲受</p>	
1925年 10月 15日	<p>新京阪鉄道が<u>天神橋～淡路駅間の営業を開始</u></p>  <p>※長柄駅は1944年2月1日に廃止</p>	【写真②】
1930年 9月 15日	<p>京阪電気鉄道が新京阪鉄道を合併 <u>淡路～千里山駅間の名称を千里山線とする</u></p>	
1943年 10月 1日	<p>阪神急行電鉄と京阪電気鉄道が合併し、京阪神急行電鉄（現在の阪急電鉄）となる ※1949年12月1日に京阪電気鉄道が分離</p>	
1963年 8月 29日	<p><u>千里山～新千里山(現 南千里)駅間の営業を開始</u></p> 	【写真③】
1964年 4月 10日	<p><u>大学前駅と花壇町駅、吹田駅と市役所前駅を統合し、それぞれ関大前駅、吹田駅として営業を開始</u></p> 	
1967年 3月 1日	<p><u>南千里～北千里駅間の営業を開始 千里山線を千里線に改称</u> 北千里駅に日本初の自動改札機を設置</p> 	【写真④、⑤】
1969年 11月 10日	<p>南千里～北千里駅間に<u>万国博西口駅(臨時駅)を開業</u> (1970年9月14日に廃止)</p> 	【写真⑥】
1969年 12月 6日	<p>大阪市営地下鉄(現 大阪メトロ)堺筋線と相互直通運転開始 ※新たに天神橋筋六丁目駅が開業し、天神橋駅は廃止</p>	【写真⑦】
1973年 11月 23日	<p>南千里～北千里駅間に<u>山田駅を開業</u></p> 	【写真⑧】



①北大阪電気鉄道・1形



②開業当時の天神橋駅



③開業当時の新千里山駅（現 南千里駅）



④北千里までの延伸工事の様子



⑤日本初の自動改札機（北千里駅）



⑥万国博西口駅



⑦大阪市営地下鉄（現 大阪メトロ）堺筋線との相互直通運転



⑧開業当時の山田駅